



ハタキをかける

「そうじょ」とも読む掃除には、払い拭うという意味がある。「掃除をしていますか?」

訪問した介護施設先で尋ねると、大方は、なんて質問をするの

「昨日、掃除の基礎が徹底されていない施設が目につく。掃除機や雑巾をかけても、ハタキをかけることをしない。」

いや、最初からハタキを用意していないところがある。仮に置いてあったとしても、使

転期に立つ経営の視座⑭ ありますか、ハタキ?

「毎日掃除をしていますか、それが何か(問題でもあるの)……」と言

い返えしてくる人もいる。掃除については、とやかくと言

われたことが、今まで何もなかったの

い方を知らない人がいる。なかには、ハタキそのものを知

らないという人もいる。ハタキは、布切れやビニールや

羽毛などを束ねて棒状の先に取りつけた掃除道具の一種で、主に室

内または道具類の塵や埃を払うことを目的に使用するものである。

はやかわ・ひろし

経営コンサルタント。1991年に独立。介護事業に関する独自の調査に基づいたデータ分析を各誌・紙に発表。著書に『99の言葉の杖』(日本医療企画)、『早川浩士の常在学場』(筒井書房)、『介護人財創造塾』(筒井書房)、『介護保険改正に勝つ!経営』(年友企画)、『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』(日本医療企画)など。

<http://www.hayakawa-planning.com>

ブログ: <http://ameblo.jp/hayakawa-planning/>

埃塗れの蔓延り

掃除機の先端に取り付けるアタッチメントタイプもあれば、静電気をういて埃を集めるOA機器専用のももある。まず、問いかけたい。「ありますか、ハタキ?」

あなたの職場には? 埃がついたり吸ったりしないよいう帽子を被り、ゴーグルやマスクで目や鼻を覆うという出立であると聞いて、大掃除の煤払いの光景が頭をよぎった。夏場は、クモの巣を取り除くのがメインになるのだという。

「空気清浄機を使っている」と言う介護事業所もあるだろうが、問わんとすると本質を真摯に受け止めることのできる所は、自らの事業所内の各種掲示物、置物や観葉植物などに塵と埃が付着しているか否かを点検してみるとよい。

開口に立つ来訪者を魅了する。だが、天井に向かって目を凝らすと埃のツララやクモの巣などを見かける場合が少なくない。浴室やトイレの換気扇に目を移すと、塵と埃が糊状のように薄黒くこびりついている。

今年3月に訪問した定員35人の平屋のデイサービスの玄関先には、伸ばせば2階の屋根の天辺まで届きそうな脚立があった。

開閉すると埃が舞うようなカーテンが、無造作に吊るされたまま。居室介護支援専門員や介護福祉士の資格を持った職員の登録証明証を入れて掲示した額の縁、開設時に紙に書いて貼りつけた「便所」などの掲示物も、塵と埃が付着したまま放置されっぱなしだ。

高さ7メートルもある天井に付着した塵と埃を取り除くため、柄を長く設えたハタキを片手にした職員が、その脚立にのぼっていた

小姑のように口やかましく指摘する人がいない事業所は、塵と埃に埋もれた衛生環境下にある。埃塗れの蔓延りは、介護の質そのものを揺るがしかねない。